

GHと有老でタウン形成 全国でも事例が増える 「複合型福祉タウン」



※「高齢者住宅新聞」複合型施設の入居者の様子
アルムシステム(北海道帯広市)は、
道東の十勝地方でグループホームをメ
インに介護事業を行っている。グルー
プホームの事業所数は20事業所。

複数のGHと住宅型有料老人ホーム
を同じエリアに開設し、タウンを形成
する形で展開している。「GHと有老
をセットで開設することで、介護度が
上がっても最期まで過ごせる場所に
したいと考えた」と介護事業部・伊藤聡
総括施設長。

現在、展開するタウンは5つ。入居者
数の規模は20名から100名まで様々
だ。全体の総入居者数は632。1つの
タウン内に食堂を1カ所設け、グルー
プホームや住宅型有老の入居者が集ま
りともに食事をする。

もともと高齢者向けの下宿を展開し

ていた同社。病気や怪我などで入院し
た高齢者の退院後まで生活を支えるた
め、介護施設の運営を開始した。

地域の介護ニーズは高く、GHの待
機者は常時40名程いるという。一方
で人材不足の課題もある。職員は月額
料金の半額で利用できる託児所をタウ
ンの近隣に開設するなど、働きやすい
環境の整備にも注力している。

同社のように、複数の福祉施設を同
箇所で開催する事例が全国でも増えて
いる。地域のご利用者のいわば、「ゆ
りかごから墓場まで」サポートできる
体制の実現だろう。

介護事業を複数展開をし、次なる展
開を考えられてる事業者様にとっては
新しい選択肢の1つとしてはいかがで
しょうか。介護施設や複合型福祉タウ
ンの開設にあたり、立地の選定、資金
調達、運営モデルの検討等、ハード面
からソフト面まで一貫して弊社にご相
談いただけると幸いです。

～介護ビジネス研究会のご案内～

日 時：2022年7月22日(金)
14:00～16:00(受付13:45～)
会 場：じゅうろくプラザ5階 小会議室①
岐阜市橋本町1-10-11
内 容：福祉系建物は木造で作る！！
講 師：NPO法人日本環境建築技術研究会
深谷 己久見先生

介護ビジネス研究会



岐阜県福祉のまちづくり推進協議会

担当：苅谷

〒501-3246 関市緑ヶ丘2-5-78

TEL:0120-337-301

FAX:0575-24-5733

<http://www.koreisyajutaku.jp>

[mail:kariya@nodakensetsu.co.jp](mailto:kariya@nodakensetsu.co.jp)

お問合せは
コチラまで

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて
0575-24-5733迄ご返信をお願い致します。

案内
不要